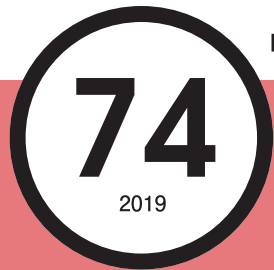


HANDS



Kokura Memorial Hospital



いつもの暮らしに、いつものあなた

小倉記念病院

〒802-8555 北九州市小倉北区浅野3丁目2番1号 TEL.093-511-2000(代表) [小倉記念病院](#) [検索](#)

TEL.093-511-2062(医療連携課) FAX.0120-020-027(医療連携課) FAX.093-511-2032(救急室) 夜間・休日における救急患者の情報のみ

【表紙】

"血液サラサラ"の薬を飲んでいる患者さんにがん手術を行う場合、薬を止めずに手術を行うとひどい出血が手術中に起こる可能性がある反面、薬を止めて手術を行うと血栓リスクが高くなり脳梗塞・心筋梗塞が発生する危険性が増します。こうしたリスクのある患者さんでは長時間の手術は循環の面から考えると不利となるため、慎重かつ手際の良い手術が必要となります。



47〔2018年実績〕%

がん手術を受ける患者で
血液サラサラの薬を飲んでいる割合

当院の外科は、狭心症・脳梗塞後のがん手術や糖尿病や透析患者などリスクの高い基礎疾患を有するがん患者に対して「諦めない、断らない」をモットーに今日も手術室に立ち続けている。



脳神経外科

年間50例を超える脳梗塞に対する血栓回収術。がん手術は抗血栓療法の一時的な中止を行うため血栓リスクがつきまとう。24時間365日体制で、がん患者の脳梗塞リスクをカバーする。



循環器内科

循環器疾患全国トップクラスの症例数を誇る循環器内科は、狭心症・不整脈・弁膜症・心不全などすべての循環器疾患に対して高度医療で対応。がん患者の循環器疾患をフォローする。

ハイリスク疾患に挑む外科を 豊富な専門チームが支える。



糖尿病・内分泌・代謝内科

様々な合併症の原因となる糖尿病。増加している糖尿病患者さんに対応すべく、院内の糖尿病診療システムを構築。外科と連携して地域の糖尿病がん患者の診療ニーズに応える。



腎臓内科

腹膜透析の管理患者数は約250名で国内最多を誇る。透析を行っているために他施設で手術を断られたがん患者に対しても外科と共同し、安全で負担の少ない手術を支援する。



諦めない、断らない

11名の医師による総合力強化を目指す。

“血液サラサラ”の薬を飲んでいる患者さんに手術を行う場合、薬を止めずに手術を行うとひどい出血が手術中に起こる可能性がある。しかし、薬を止めて手術を行うと血栓リスクが高くなり脳梗塞・心筋梗塞が発生する危険性が増す。こうしたリスクのある患者さんでは長時間の手術は循環の面から考えると不利となるため、慎重かつ手際の良い手術が必要となる。

以下のような患者さんでも諦めることなく手術適応を検討します。

抗血栓療法	冠動脈ステント留置直後	血液透析・腹膜透析
脳梗塞ハイリスク	重症弁膜症患者に対する胃がん・大腸がん手術	

etc.

難易度の高い
がん手術に挑む外科
抗血栓療法を行う
循環器内科

対 談

副院長 循環器内科 主任部長

安藤 献児

外科 主任部長

藤川 貴久

安藤 献児 Profile

- ・京都大学臨床教授
- ・日本内科学会 認定医 総合内科専門医 指導医
- ・日本循環器学会 専門医
- ・日本心血管インターベンション治療学会 専門医
- ・植え込み型除細動器・ペースメーカーによる心不全治療 登録医
- ・日本不整脈心電学会 専門医
- ・外国人医師臨床修練指導医
- ・日本心臓リハビリテーション学会、日本心不全学会、日本高血圧学会、日本心臓病学会

藤川 貴久 Profile

- ・日本外科学会 指導医 専門医 認定医
- ・日本消化器外科学会 指導医 専門医
- ・消化器がん外科治療認定医
- ・日本肝胆膵外科学会 高度技能指導医 評議員
- ・日本内視鏡外科学会 技術認定医 認定医 評議員
- ・日本臨床腫瘍学会 指導医 がん薬物療法専門医
- ・日本癌治療認定医機構 暫定教育医 認定医
- ・臨床研修指導医
- ・アメリカ外科学会正会員(F.A.C.S)
- ・医学博士

患者さんを

診るということ。

二人の本音が交差する。

大学は一緒なんですね。もともと知り合いだったとか!?

安藤 学年も違うから知り合いではなかったね。そもそも僕はあんまり学校行っていなかったからなあ(笑)

藤川 僕も体育会の野球部だったから同じようなもんな(笑)

二人が並んで座っているところを初めて見るんですが、仲悪くないですよ!?

安藤 うんうん、仲悪い(笑)。嘘だけど、循環器内科と心臓血管外科みたいな感じで、外科も消化器内科との接点の方が多いのかな。

藤川 そうですね。でもこの病院は外科の手術をするのに循環器疾患を持たない患者さんの方が少ないので、相談先としていつもお世話にはなってますよ。

血液サラサラの薬を服用している患者さんのがん手術を行う外科として思うことは?

藤川 小倉記念病院に赴任した時は本当に驚きました。以前の勤務場所ではがん手術を受ける患者さんで抗血栓療法をしてい

るのは10%程度だったのが、ここでは50%近く。カンファで持病もなく何にも薬を飲んでいない患者さんの症例があると「珍しいねえ」とみんな言ってますよ。

安藤 逆に外科医としてのうちの状況は腕が上がるんじゃないですか!

藤川 本当に鍛えられましたね。手術時間も短く手際よくやらないといけないので。しかもほとんどの患者さんが何かしらの持病をお持ちなので、僕自身だけでなくチーム全体の底上げにありましたね。

血液サラサラの薬を出す循環器内科として外科に思うことは?

安藤 僕は加害者側やね(笑)。ご迷惑おかけしますが、これだけ循環器疾患に対する最新治療を導入していると薬の正しい使い方などわからない部分があるのは事実です。正直、外科の先生にはあんまり申し訳ないとは思ってないかな。もうしょうがないから諦めてくださいと(笑)。

藤川 逆に薬を止めた時の怖さをきちんと言ってくれるので、そこを前提にどう手術をすべきか検討できています。

安藤 現在はアスピリン継続しながらがん手術をしているんですか?

藤川 はい。これまで外科系の学会では抗血栓療法が絡んだ発表は5題ほどしかなかったんですが、今年は50例近くもの抗血栓療法絡みの発表が見られ、注目度が増しているのは事実です。そのうち1/3くらいが



大腸がんの腹腔鏡手術だったんですが、ほとんどがアスピリン継続で行っていました。これから日本全体のガイドライン化に向けた動きになっていきそうです。

診療部長としての責任

藤川 4月から主任部長に就任しましたが、自分がやるべきことを見つけるまでに半年くらいはかかりましたね。人に動いてもらわないといけない立場なので誠実さが一番だと思います。安藤先生のマネをさせてもらった部分もあって、地域の医療連携機関への挨拶回りや出張講座を行い地域とのつながりを大切にしています。僕自身は難易度の高い手術を手掛けつつ、基本的にはチームの環境整備に力を注いでいます。複数いる指導医がきちんと若手を育てていける体制を構築することで、チーム力を向上させるようにしています。でも塩対応で言うんですね。挨拶まわりで循環器内科の安藤主任部長でさえ塩対応をされることがあると聞いて、それなら自分はずっと頑張らないといけないと思いました。

安藤 僕もサラリーマンの大変さがわかりましたね(笑)。でも回数を重ねて顔を覚えてもらって信頼されるまでには時間がかかるので、継続していくしかないと感じます。

藤川 あと循環器内科が延吉先生時代から続いている「諦めない、断らない」は外科のモットーにさせてもらいました。うちのスタッフには口すっぱく言っています。どんなに基礎疾患があっても患者さんに十分に説明して

治療の道を探しています。

患者さんを診るとは?

藤川 数年前にね、安藤先生からお叱りを受けたことがあって、「外科は外科だけの仕事をしていた方がいいのか」と言われて。

安藤 全然、覚えてないですね(笑)

藤川 がん治療を終えて転院した患者さんが肺炎になった時に、あるスタッフが転院を断っていた。「肺炎はうちの科じゃないから」と。

安藤 困っているから患者さんは来るわけであって、困っている患者さんを受け入れないということは、小倉記念病院の信頼に大きく響くと思います。

藤川 最近、うちの若手の医師が「肺炎などで総合受診になる患者さんを、循環器内科はきちんと受け持っているし、それを上司がきちんと指導している」と言っていました。なので、外科も当院で治療したがん患者さんが肺炎になってもきちんと診療するようにと、科の1つの方針としています。

安藤 内科医とか外科医とかじゃなくて、僕たちは医師だからね。困った人を治す、これが医師の本分ですから。

藤川 うちの外科は、循環器内科をはじめとした豊富な専門チームの支援を支えとして、いろいろな基礎疾患を持っている患者さんに対するがん治療を強みとして取り組んでいます。これからもよろしくお願いします。

安藤 こちらこそ、よろしくお願いします。



この「減塩 焼肉のタレ」は、小倉記念病院が監修。通常の生活で、心臓に負担がかかる「高血圧」の方は、一般的に塩分を控えなければいけません。病院としては「健康に良い食事をして欲しい」。一方の生活者としては「血圧は気になるが、美味しい食事をした」。その双方の想いを実現するために「焼肉の龍園」が、高血圧の人には避けられがちな「焼肉」を美味しく食べてもらうための「減塩 焼肉のタレ」を同病院と企画し、地元大正2年創業の老舗醤油醸造元である株式会社「ごとう醤油」が製造に携わった、まさに「焼肉店と総合病院」という、地域の病院・焼肉店・老舗醤油醸造元の異色コラボが生み出した商品です。小倉記念病院 管理栄養士 監修のもと、健康面への素材のこだわりはもちろん、美味しさも満足していただけるものに仕上げました。「ずっと、健康でいてほしい」そんな願いを込めて作った調味料です。

焼肉も健康的に食べられる!?
病院・焼肉店・老舗醤油醸造元
が共同開発した
「減塩 焼肉のタレ」が完成。

減塩 焼肉のタレ

小倉記念病院
監修



50

塩分
%OFF

※龍園比

内容量：200ml、100gあたり(熱量:130kcal/タンパク質:1.9g/脂質:0.1g 炭水化物:29.7g/食塩相当量:2.8g)
龍園 小倉本店・西中洲店にて店舗販売中。近日、小倉記念病院 1F ローソン、龍園webでのネット販売もスタート!



焼肉の龍園

<http://ryuen.biz/>



小倉記念病院

福岡県北九州市小倉北区浅野3-2-1
TEL.093-511-2000(代表)



株式会社 ごとう醤油

福岡県北九州市八幡東区日の出1-3-18
TEL.093-671-1171



株式会社 龍園

福岡県北九州市小倉北区鍛冶町1-8-15
TEL.093-531-1129